

日本語能力試験(JLPT)結果

校内トップは金昭利さん

N1 に 12 人合格し、今年度合計 27 人に

昨年 12 月 2 日に実施された 2018 年度第 2 回日本語能力試験(JLPT)の結果、N1 級では校内 24 人中 12 人が合格しました。合格率は 50%でした。昨年 7 月実施の N1 合格者 15 人と合わせて、2018 年度は 27 人の N1 合格者が生まれました。通算合格率は 62.8%でした。今回の N1 トップは、昨年 7 月の N2 で校内トップ(176 点)を記録した金昭利さんの 158 点でした。N1 の校内平均は 100.4 点でした。

N1 分野別で満点 3 人

N1 の「言語知識」の分野では谷雲琪さん、「読解」の分野では金昭利さん、「聴解」の分野では馮靖凌さんが、それぞれ 60 点満点でした。

非漢字圏の N1 合格率 6 割

インドネシア、マレーシアなど非漢字圏の学生は、今回 10 人が N1 にチャレンジしました。そのうち 6 人が合格しました。

A クラスは 14 人全員が N1 合格者に

A クラス(進学クラス)では、今回 N1 を受験した 7 人が全員合格し、昨年 7 月までに合格していた 7 人と合わせて、全員が N1 合格者となりました。

N2 最高点は初中級クラスの邱依雪さん

N2 では 21 人中 17 人が合格しました。合格率は 79.4%。最高点を取ったのは初中級クラス(F クラス)の邱依雪さんで、142 点でした。邱さんは昨年 4 月に初級クラスに入学し、9 か月で大きな成果を上げました。N2 の校内平均は 104.7 点でした。

N2 の 2018 年通算合格率 80.4%

昨年 7 月の N2 合格者 35 人と合わせて、2018 年度の N2 合格者は 45 人になりました。通算合格率は 80.4%です。今回の N2 受験者には非漢字圏(インドネシア、マレーシア)からの学習者が 6 人いましたが、その半数の 3 人が合格しました。「言語知識」の分野では林于萱さんが 60

点中 43 点で校内最高、「読解」の分野では廖恆毅さんと汪芯仔さんが 60 点中 53 点で校内最高、「聴解」の分野では邱依雪さんが 60 点満点でした。

N3 は 24 人が受験し、19 人が合格。トップは劉書好さん(台湾)で 142 点でした。

N4 は 2 人が受験し、2 人とも合格しました。

N1 校内ベスト 5 (180 点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	A	金 昭利	韓国	158
2	A	谷 雲琪	台湾	143
3	A	馮 靖凌	台湾	139
4	A	Maria Ignatia	Indonesia	133
5	A	Chung Sim Yee	Malaysia	131

N2 校内ベスト 5 (180 点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	F	邱 依雪	台湾	142
2	D	黄 亦揚	台湾	134
2	E	廖 恆毅	台湾	134
4	D	林 于萱	台湾	130
5	F	汪 芯仔	台湾	117

(日本語能力試験の合格ラインは、いずれの級も 180 点満点中、N1 が 100 点、N2 が 90 点、N3 が 95 点、N4 が 90 点、N5 は 80 点です。)

新入生 48 名迎え新学期

4 月期は新入生 48 名を迎え、7 クラス 107 名でスタートしました。4 月 2 日にプレースメントテスト、3 日に入学式とオリエンテーション、歓迎パーティーを行ないました。今学期の国籍分布は、台湾 59%、インドネシア 13%、マレーシア 8%、タイ 4%、香港 4%、その他 9 つの国と地域(韓国、アメリカ、マカオ、オーストラリア、フィリピン、ベトナム、モロッコ、ロシア、日本)です。



新学期、学校の近くでクラスごとにお花見をしました。

祝 合 格

(3月31日現在)

【大学院】

陳志軒 (台湾・2018卒) 創価大学大学院工学研究科 修士課程

【大学】

林俊宏 (台湾) 国立鳥取大学 地域学部

林俊宏 (台湾) 山口県立大学 国際文化学部

林哲宇 (台湾) 神奈川歯科大学 歯学部

Vitto Jevano Christiant (インドネシア) 金沢工業大学 工学部

Maria Ignatia (インドネシア) 近畿大学 農学部

戴恩辰 (台湾) 国際基督教大学 教養学部

谷雲琪 (台湾) 駒沢大学 経営学部

Vitto Jevano Christiant (インドネシア) 埼玉工業大学 工学部

馮靖凌 (台湾) 女子美術大学 美術学部

陳琛鈞 (台湾) 拓殖大学 政経学部

張書璋 (台湾) 拓殖大学 商学部

戴恩辰 (台湾) 拓殖大学 商学部

Wan Liang Jia (マレーシア) 拓殖大学 商学部

Wan Liang Jia (マレーシア) 中央大学 商学部

陳琛鈞 (台湾) 東京経済大学 経済学部

Vitto Jevano Christiant (インドネシア) 東京工芸大学 工学部

Damar Kumara (インドネシア) 東京農業大学 国際食料情報学部

Isaac Valentino Lee Jun Jiet (マレーシア) 東洋大学 経済学部

Wan Liang Jia (マレーシア) 東洋大学 経営学部

Quek Jing Wen (マレーシア) 日本大学 文理学部

Mahkota Raja Buana (インドネシア) 福井工業大学 工学部

Jonathan Chandra Tan (インドネシア) 文教大学 経営学部

許哲瑄 (台湾) 法政大学 経営学部

盧芊彤 (台湾) 法政大学 文学部

Chung Sim Yee (マレーシア) 明治大学 経営学部

Maria Ignatia (インドネシア) 明治大学 農学部

許哲瑄 (台湾) 明治大学 商学部

金昭利 (韓国) 明治大学 国際日本学部

金昭利 (韓国) 立命館大学 国際関係学部

李建濤 (台湾) 麗澤大学 外国語学部

Crystal Eileen (インドネシア・2018.3卒) 早稲田大学 基幹理工学部

【専門学校】

王友致 (台湾) 東京製菓学校 和菓子本科

孫祥翼 (韓国) 東京すし和食調理専門学校 和食調理科

汪芯仔 (台湾) ビジョナリーアーツ専門学校 フードクリエイティブ学科

John Arnestus (インドネシア) 東京デザイナー学院 イラストレーション学科

曾婕瑀 (台湾) 東京デザイン専門学校 グラフィックデザイン科

孫千晶 (台湾) 日本電子専門学校 高度情報処理科

Reinardus Alvin (マレーシア) 専門学校東京クールジャパン ゲーム総合学科

陳濬洋 (台湾) 東京スクールオブビジネス 経営学科

陳嫻好 (台湾) 東京観光専門学校 ホテル学科

Chung Sim Peng (マレーシア) 文化外国語専門学校 日本語通訳ビジネス科

鄧少瑜 (台湾) 東京外国語専門学校 ビジネス日本語科

鄧少瑜 (台湾) 東京外国語専門学校 国際日本語科

Kelly Yong Ngik Thing (マレーシア) 東京モード学園 ファッションデザイン学科

【高校】

Ruthaikeattikaseam Kittichok (タイ) 関西国際高等学校 普通科

卒業式 40 名に修了証書

4 名に皆勤賞

3月7日、卒業式が行われ、進学科17名、基礎科23名に修了証書が授与されました。卒業生を代表してAクラスのMaria Ignatiaさん(インドネシア)が挨拶をしました。

卒業式では皆勤賞の表彰も行われました。入学以来1年半皆勤だったのはMaria Ignatiaさん(インドネシア)、許哲瑄さん(台湾)の2人。1年の皆勤はWan Liang Jiaさん(マレーシア)、廖恆毅さん(台湾)の2人でした。4人には後援会から図書カードが贈られました。(写真)



2019 年度の奨学生決定

在籍学生 5 名が受給

文部科学省から給付される学習奨励費生には、進学科から Tiffany Carissa さん(インドネシア)、基礎科から徐子媛さん(台湾)が選ばれました。

高山国際教育財団の奨学生には Asa Satyagraha さん(インドネシア)が、共立メンテナンス奨学基金の奨学生には Goh Jun Xian さん(マレーシア)と Tan Xin Wei さん(マレーシア)が、それぞれ選考され決定しました。

山口先生が副校長、角南先生は専任に

2010年から主任教諭として主に進学指導などを担当してきた山口閑子先生が、今年度から副校長に就任しました。

また、非常勤講師の角南瑞樹先生が、今年度から専任教師として授業やさまざまなアクティビティ等を担当します。

8名が就職セミナー受講

今学期も、日本国内での就職希望者を対象に、校内就職セミナーを行っています。セミナーは4月17日にスタート。日本の企業の特徴や外国人の就職状況などについて紹介するガイダンスを行いました(写真)。今学期のセミナー受講登録者は8名。

「これからの就職活動への不安はあるが、一生懸命頑張りたい。まずは日本語を頑張らないと。」と意気込みを語ってくれました。

今後は Asia Link の小野様を講師に迎え、「企業分析・自己分析」「面接練習」「履歴書の自己PRと志望動機の書き方についての勉強会」を行います。セミナー最終日には東京商工会議所から企業経営者の皆様をお招きし、「企業経営者との意見交換会」を開催する予定です。

JETでは、卒業後に日本国内で就職したいという学生が年々増えてきており、これからも様々な就職支援を行っていきたく考えています。



まんがワークショップ

1月25日、日本事情「よむよむマンガ」の一環としてまんがワークショップを行いました。Manga Drawing Workshopを主宰する橋爪なつ子先生とプロの漫画家の加藤屋大吾さんを講師に迎え、「擬音語・擬態語(オノマトペ)」を自分でデザインすることに挑戦しました。なんと先生ご自身の作品の単行本や原画ももってきてくださり、学生たちも興味深そうに見ていました。

そんな中、タイの学生がタイ語に翻訳された単行本を発見。よく見ると擬音語・擬態語も全てちゃんと翻訳されていました。マンガは吹き出しの中だけでなくコマのデザインの一部になっている擬音語・擬態語も翻訳しなければならないんですね〜。



大学生との交流活動

◆1月25日 学習院大学の女子大生4名を迎え、G、Fクラスが交流会を行いました。Fクラスでは、自分たちの国のゲームを紹介し、一緒にゲームをして楽しみました。



◆2月12日 国際交流団体SNIEの大学生12名を迎え、A、B、D、E、Hクラスが交流会を行いました。2名の留学生と1名の大学生の組み合わせでたくさん笑って、たくさん話をしました。



◆4月24日 国際交流団体SNIEの大学生5名を迎え、E、Fクラスが交流会を行いました。初めて日本人と話す学生も多く、緊張感たっぷりでしたが、だんだん打ち解けて和やかな雰囲気になりました。

◆4月24日 早稲田大学の国際交流サークル(WIC)のイベントに30名の学生が参加しました。第1回目のイベントは大学生と共に校内を巡るピクチャーハントとクイズ! 初級の学生も頑張って日本語で伝えようとする姿勢を感じました。

◆4月27日 拓殖大学国際交流サークルのBBQに1名の学生が参加しました。雨が降りそうな中、日本式のBBQを堪能しました。

ボランティアに「やさしい日本語」の教え方

山口閑子

1月27日(日)、湯河原国際交流協会から講演の依頼を受け、日本語ボランティアの皆さまの前で、お話をさせていただきました。湯河原国際交流協会とは1988年のJET日本語学校開校以来のお付き合いで、毎夏、ホームステイプログラムではJETの学生を多数受け入れていただいています。

現在、技能実習生や在日の外国人が増える中、湯河原でも日本語のサポートが必要な人たちが増えているそうです。数年前から日本語ボランティアの活動がはじまりましたが、教え方など、具体的なアドバイスをしてほしいということでした。

普段、外国人と接するにあたり、私が心がけていることからお話ししました。教室での活動の様子を見ていただいたり、外国人にとって「やさしい日本語」とはどんなものかを、ワークショップ形式で体験しながら考えていただきました。

最後に皆さまからの質問や悩みにお答えし、終わったときには、あつと言う間に2時間半近くが経っていました。今回、このような機会をいただき、私にとっても大いに勉強になりました。教えるフィールドは違いますが、外国人を相手に日本語や日本のことを伝えていきたいと思っている気持ちは同じです。日本語学校という立場で今後何ができるのか、考えていくきっかけを与えてくださいました。ありがとうございました。



♪ ♪ ♪

台湾の大学で講義

得猪節子

3月の台湾出張では、台北、高雄、台中での留学説明会の他、中南部の大学を訪問することができました。

3月11日に環球科技大学(雲林縣)、翌12日に国立中正大学(嘉義市)にて『日本留学と日本就職について』と題してそれぞれ90分の講義をさせていただきました。卒業をひかえ、人生の岐路に立つ3年生と4年生の学生さんたちは熱心に耳を傾けていました。コーディネイトと見事な通訳をつとめてくれたのは呉俊賢・崔暁倩教授夫妻(共に1992年卒業)。

また、長榮大学、高雄科技大学の訪問は陳佑蟬さん(2008年卒、高平日語代表)、東海大学訪問は陳復蓉さん(1999年短期終了、東海大学日文系助手)たちのおかげで訪問が実現しました。ご多忙の中温かく迎えてくださった日文系主任の先生方にあらためて感謝申し上げます。それにしても、台湾の大学のキャンパスはどこもなんて広いのでしょうか!学問の場と生活の場が一体化しているのです。

今回もJETを巣立って間もない卒業生から、10年、15年、20年、27年までそれぞれの年代が母校のために尽力・応援してくれました。在学当時、時に笑い、時に苦労しながらも勉学に励んでいたのはつい昨日のようですが、光陰矢のごとし。金美齡校長(当時)に激励されて子育てしながら必死に研究を続けた呉・崔夫妻。当時台湾の大学生だった陳復蓉さんはJETのサマーコースに参加したものの宿舎がなくて急遽金校長宅に泊めてもらうことになったことなど懐かしい話もつきません。皆それぞれの場で活躍し、ひととのよきつながりを築き、今なお走り続けている姿と再会できたのは感動の極みでした。卒業してもなお母校に寄せてくれるその思いと期待に応え続ける学び舎JETでありたいという思いを新たにしました。



向かって左に立っているのが、崔暁倩
中正大学経済学系教授

JET 同窓会 韓国支部結成

支部長に李在訓さん、副支部長に趙完鎬さん

3月、井上校長と山口先生が韓国に出張し、JETの同窓会組織を発足させました。JETの元評議員でもある李在訓さん(1995年卒)を韓国支部長、趙完鎬さん(2003年卒)を副支部長に指名しました。



井上校長の右が李在訓さん。この出張で10人の卒業生と会うことができました。

後援会会費納入のお願い

JET日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本校で学ぶ学生達を支援しています。校内スピーチ大会での賞品の一部や遠足の補助金は、後援会からの支出によるものです。2018年度は38名の方から264,250円のご支援をいただきました。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費:3000円 賛助会費(一口):2000円

郵便為替口座:00140-1-101927 JET日本語学校後援会

★ ★ ★

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>

先輩を招いて進学座談会

GW中の4月30日、進学科の学生を対象に進学座談会が開かれました。ゲストは今年3月にJETを卒業したばかりの初々しい大学1年生の先輩4人、戴恩辰さん(国際基督教大・教養学部)、Chung Sim Yeeさん(明治大・経営学部)、Vitto Jevano Christiant君(東京工芸大・工学部)、林哲宇君(神奈川歯科大・歯学部)です。4人の先輩から、進学科での受験勉強について話を聞きました。「JETの授業はつらくて厳しい時も多いが、我慢して勉強することが大切。大学に入ってから効果がわかる。」「EJUの点だけが入試ではない。それ以降の勉強は大学生活に直結しているから、卒業するまで日本語を磨いてほしい。」「与えられた宿題だけでは足りない。自ら勉強することが必要。」「普段から考える練習をして自分の意見を積極的に話してほしい」などなど実体験から得た貴重なアドバイスをたくさんいただきました。4人とも大学生になってからJETでの勉強の効果を感じることが多いと話していたのが大変印象的でした。現役のABクラスの学生達も熱心にメモをとっていました。

平成最後の日に先輩から力強いエールをもらい、新しい時代「令和」の受験生としての毎日に大いに期待したいものです。頑張れ、受験生！ (木村晴美)



地域のスピーチ大会に連続挑戦

板橋区では日本舞踊の発表も

1月19日、横浜スピーチ交流(ITC主催)に、Alfonsus Wintang Abhikamaさん(インドネシア=写真右)とLe Tiffany Diemさん(USA=左)が参加しました。2人はその後、2月23日に行われた板橋区文化・国際交流財団主催の「第19回 日本語スピーチ大会」にも出演。クラスメイトも応援に駆け付けました。

「とても楽しかったし自信がついた。チャンスがあったらまたぜひ参加したい」と語ったのはAlfonsusさん。場数を踏んで、いい経験になったようです。



板橋区のスピーチ大会では、外国人による日本舞踊の発表もあり、体験講座に参加したJETの学生10名が舞台に立ちました。参加した張小芸さんは、「今回の日本舞踊の体験はとても楽しかった。練習の時間はちょっと少なかったが、先生方は優しく、詳しく教えてくださった。本番の当日、胸が大変ドキドキした。でも、JETの先生方とクラスメイトたちの応援のおかげで、私は勇気もらった。心からありがとうございました。また機会があれば、参加したい。」と振り返りました。

また、Tiffanyさんは3月10日、Hippo Family主催の「第6回 LEX Multilingual Presentation for Youth TOKYO」にも参加。会場はあの有名な東京ビッグサイト!「とても緊張した。このスピーチ大会は少なくとも3つの言語を使わなければならない。複雑なメッセージを伝えるのが大変だった。」とのことでした。

「お酒でコミュニケーション～イスラム教徒の悩み」

新聞の投書欄に掲載

今年3月にJETを卒業し、現在は東京農業大学に入学したダマル・クマラ君(インドネシア)の投書が12日、読売新聞の「外国人材@日本 ボイス」に掲載されました。

「日本という異文化の中で生活してきて、ある悩みができた。それは、お酒を飲みながらコミュニケーションをとるという日本の文化についての悩みだ。イスラム教徒である自分は、宗教上の理由でお酒が飲めない。大学で飲み会に誘われ参加した時、自分だけ違う飲み物を注文することは、場の雰囲気を悪くしてしまうのではないかと。また将来日本で就職したいと思っているが、会社帰りの飲み会に行かなければならないのか。自分の時間を大事にした方がいいのでは。」という内容です。



等身大の留学生の抱える思いが生き生きとわかりやすく表現されていて、日本人の読者に訴える力があつたというのが選ばれた理由だそうです。

地元の小学生と交流

「外国人と日本語で話せた!」

3月27日、NPO「Jimo Kids」との共催で、地元の小学生たちとの交流会を行い、JETの学生16名が参加しました。自分の国を紹介した後、おしゃべりやゲームなどをし、普段なかなか話す機会のない子どもたちとの楽しい時間を過ごしました。子供たちからは、「外国人と日本語で話せた!」という感動の声が聞かれました。同伴したお母さんたちにとっても、日本語学校で学ぶ留学生を理解していただくよい機会になったようです。Jimo Kidsとはこれからも協力し、イベント等を通じて、継続的に地域との交流を深めてゆきたいと考えています。

焼津ホームステイの思い出

Chee Jia Hui(マレーシア)

5月4日から6日まで焼津へホームステイに行きました。(JETからは4人が参加しました。)この3日間、色々なことをしました。一緒に食事をしながら話したり、BBQをしたり、茶摘み体験をしたり、散歩したり、温泉に行ったりしました。ホームステイの両親はとてもやさしかったです。私の世話や、お土産を買ってくれたりしました。また、一緒におにぎりを作って、ゲームをして、とても楽しかったです。

焼津の皆さんも、いつも笑って元気でとても親切でした。聞き取れない時も、言われた意味が分からない時もありましたが、日本語だけで焼津の皆さんと話して、少しだけ上手になり日本語の練習もできました。色々な日本人と話す機会もあってよかったです。そして、日本人だけでなく、同じくホームステイに来ていた他の学校の友達もできました。

日本に来てから、こんな経験をするのは初めてで、忘れられない思い出ができました。この3日間は短かったです、とても楽しかったです。このホームステイに行っただけで本当によかったです。また機会があれば、もう一回行きたいです。

ア ク テ イ ウ イ テ イ

- 1月27日 森山先生のお父様が指揮をする高田馬場管絃楽団の演奏会に、JETの学生6名が招待されました。学生の中には小さいころからピアノを習っていた人もいて、オーケストラの迫力ある演奏にとっても感動していました。
- 2月10日 両国国技館で行われた大相撲トーナメント(フジテレビジョン主催)を13名が観戦しました。学生は「テレビの中でしか見られなかったものが目の前で見られて感動した」「力士同士がぶつかった時の音の大きさに驚いた」など、興奮を隠せない様子でした。
- 2月26日 茶道体験。昼下がり、302教室は茶室に早変わり。13名4か国のお客さんが集まりました。桃の花、菜の花とおひなさまの壁飾りをしつらえて、春の訪れを感じつつ、お茶とお菓子を楽しみました。リチャード・ウィナタ君(インドネシア)は茶筌を器用に操り、初めてにしていきなり名人なみにきれいに抹茶を点てていました。
- 3月1日 Eクラスでは大宮にある鉄道博物館を訪れました。SLや新幹線、昔の電車に乗ったり写真を撮ったり、デジタル技術を駆使した展示に夢中になったり、授業で勉強した「駅弁」に感動したりと、一同大興奮!学びの多い一日となりました。

2019年度前期の「日本事情」クラス

- 「歌えラララ」5月13日～6月10日(石津先生)
- 「留学生活日記」5月24日～6月21日(藤井先生)
- 「よむよむ漫画」7月9日～9月3日(大塚先生)

学 校 日 誌

- 1月16日、17日、22日 北区防災センターで防災訓練
- 1月21日 進路説明会(大学学部)
- 1月28日 進路説明会(大学院、専門学校)
- 2月1日 節分豆まき
- 2月13日 進学科ガイダンス
- 2月14日～15日 進学科卒業試験
- 2月22日 期末テスト
- 3月25日 数学・理科のレベルテスト
- 4月10日 ビザ更新説明会
- 4月12日 多読クラス「よむよむ会」スタート
- 4月17日 漢字補講クラススタート
- 4月17日・19日 EJUチャレンジ模試
- 4月30日、5月2日 連休中でしたが、進学クラスでは特別授業として、先輩を招いての座談会やテストを行いました。

大学生と春の遠足

春遠足の季節になりました。5月10日、全クラスで葛西臨海公園へ行ってきました!天気にも恵まれ、まさに遠足日和。大学の国際交流サークルの方々13名にも参加していただき、バーベキューとゲームを楽しみました。

バーベキューは各クラスで事前に作るものを決め、材料を持ち寄り、世界各国様々な料理ができました。まるでお祭りの出店団体のような様子でした。材料や道具が足りないクラスがありましたが、みんなで知恵を出して工夫している様子が見られました。

昼食の後は2つのゲームで大盛り上がり!Aクラスの学生はこの日のために遅くまで残って準備してくれました。ゲーム前に円陣を組んで気合を入れました!結果はFクラスが見事優勝。今回の遠足はラマダンと重なってしまいましたが、ムスリムの学生も楽しそうに参加していました。

この遠足のスタッフを引き受けてくれた学生のみなさん、ポスターを作ってくれたF、Gクラス、申込書を作ってくれたCクラスの陳立紘さん、前日までに買い出しの手伝いをしてくれたB、Cクラス、どうもありがとうございました。クラスの仲がより一層深まった遠足でした。(岡田安弘)

